

いま、木材はかつてない注目を浴びています。SDGs (国連2030年までに達成すべき持続可能な開発目標)や脱炭素社会への実現、環境にやさしく日本人が古くから親んできた自然素材への回帰等々で、社会の期待は大きく高まっています。だが、木材の用途は高度成長期からこれまで主に住宅分野に限られており、期待とは裏はらに木造ビルに象徴される新たな需要へ木材を供給する仕組みは整っていないのが現状です。

福岡県木材利用促進協議会(以下、当会)は、林業・木材産業・木造建築に連鎖した構造的な問題を3者が連携して取り組むために発足しました。そこで、前身になる勉強会(平成28年12月～)から今までの6年間の活動は、おもに伐採から木造生産・加工までの木材供給の流れを知ってもらう啓発活動、関係者間での体制づくりの協議等を行っています。

県木促協 令和4年度 活動報告 交流会
主催:福岡県木材利用促進協議会 (県木促協)

The future who believe their dream

未来とは夢の美しさを



... belongs to those ... in the beauty of ... ms. -Eleanor Roosevelt

信じる人々と共にある。